

<恒例行事> 紫式部法要

<特別企画> 紫式部への供茶・奉楽(雅楽)

日時 9月17日(火)10:00~ 会場 本堂

毎年中秋の日に行われる紫式部を供養する法要。石山寺所蔵の世界最古の紫式部の肖像画「紫式部聖像」(複製)が内陣に掛けられ、法要が行われます。この絵に描かれる紫式部は仏のようなお姿で、平安時代後期から「あれほどの大作を書き上げた紫式部は観音の化身である」という口伝とも関わりがあるように思える作品です。石山寺では仏画として長い間大切に守られてきた軸絵を2日間だけ拝観していただけます。今年は法要の中で、裏千家茶道宮川一門による供茶式と、伶和雅楽会による雅楽奉納が行われます。

「紫式部法要」「紫式部への供茶式」に参列される方は、昼の部(8時~16時)の入山料(大人600円・小学生250円)が必要になります。夜間拝観(17時30分~)には、別途夜間入山料(大人1,000円・小学生500円)が必要になります。



<特別奉納プログラム> 催馬楽・舞楽奉納

日時 9月17日(火)16:30~(約45分) 会場 本堂 定員 80名 [完全予約制] 料金 3,000円(夜間拝観入山料も含まれます)



アジア各地からの伝来音楽と日本古来の音楽が融合して平安時代にはほぼ完成した舞楽である「舞楽」。奈良・平安の世から奏でられる雅楽のいにしへの姿が、楽書などを手掛かりに「伶和雅楽会」によって再現されます。

出演 伶和雅楽会 (れいわががくかい) 演 催馬楽 安名尊(あなとうと) 舞楽 落躰(らくそん)

<特別奉納プログラム> 能「源氏供養」奉納

日時 9月18日(水)16:30~(約45分) 会場 本堂 定員 80名 [完全予約制] 料金 3,000円(夜間拝観入山料も含まれます)



安居院法印や紫式部が石山寺にて繰り広げられる物語で、今回は後段の紫式部が源氏供養の謝辞を舞う場面をご奉納いただきます。「源氏物語」の帖名を巧みに盛り込んだ詞章や、強弱のついた節が見どころです。

出演 シテ 鷺尾世志子 ワキ 小林 努 笛 左 鴻泰弘 小鼓 林 大和 大鼓 谷口正壽 後見 大江広祐 地謡 大江信行 宮本茂樹 大江泰正 働き 谷 弘之助

本堂奉納プログラム 参加方法

- 石山寺ホームページの秋月祭ページよりお申し込みください。(定員を超えた場合は抽選となります)
- 後日抽選結果をメールにてお送りいたします。当選された方には当日の受付方法やお支払い方法などをご案内いたします。

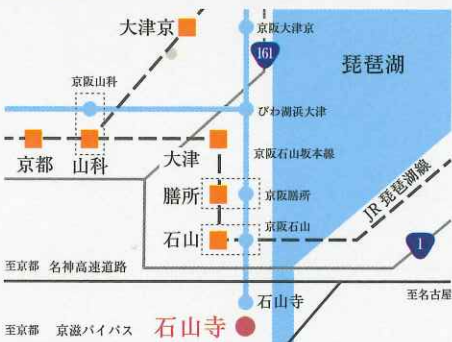
申込みページ ▶ <https://www.ishiyamadera.or.jp/guide/event/shugetsusai#hounou>



第五回 石山寺俳句大賞

文学の寺とも呼ばれる石山寺には、和歌・連歌・俳諧・物語・小説などあらゆる分野の人々が訪れてきました。多くの文人たちが眺めた同じ月の下、秋の風情や想いを句にしたためてみてください。

- 【応募方法】①石山寺で投句する ②X(旧ツイッター)で「#石山寺俳句大賞」をつけて投稿 ③石山寺ホームページ専用フォームから投句
- 【応募期間】9月1日(日)~9月23日(祝)
- 【賞と賞品】紫式部賞(最優秀賞)2本 石山寺・門前共通商品券「光るくんチケット」3,000円分ほか 詳細はホームページをご覧ください



JRをご利用 <JR大阪駅から(約55分)/JR京都駅から(約30分)> JR大阪駅→(約25分)→JR京都駅→(約15分)→JR石山駅乗換え→京阪石山駅→(約5分)→石山寺駅下車徒歩(約10分) もしくはJR石山駅 京阪バス(1番乗場約10分)→石山寺山門前バス停下車すぐ

京阪電車をご利用 <三条京阪駅から(約50分)> 三条駅[地下鉄三条京阪駅]→(約22分)→びわ湖浜大津駅乗換え→(約16分)→石山寺駅下車徒歩(約10分)

お車でお越しの方 ■大阪・京都方面から 「名神高速道路 瀬田西IC 出口」を降りて約10分 ■東京・名古屋方面から 「名神高速道路 瀬田東IC 出口」を降りて約10分 ■宇治方面から 「京滋バイパス 石山IC 出口」を降りて約10分 ※ナビを使ってお越しの方は「石山寺観光駐車場入口」を目的地に設定してください。「石山寺」の設定では駐車場から離れた道へ誘導されますのでご注意ください。

源氏物語紫式部ゆかりの花の寺 大本山 石山寺 〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1 <お問合せ>一般社団法人石山観光協会 TEL.077-537-1105 <https://www.ishiyamadera.or.jp> 石山寺 検索

主催 大本山石山寺

共催 (一社)石山観光協会 / NPO法人石山名月の会

令和6年 9月17日(火)・中秋 18日(水)・満月 17時30分~21時(最終入山20時30分)

入山料 大人1,000円(小学生500円) 「光る君へびわ湖大津 大河ドラマ館」「源氏物語 恋するもののはれ展」も無料でお入りいただけます

源氏物語 誕生のきっかけになった神秘的な月と、紫式部も信仰した観音さまへの夜間拝観

大本山 石山寺 秋月祭



伊藤小坡「紫式部図」(石山寺蔵)

ISHIYAMADERA SHUGETSUSAI 2024.9.17.18

秋月祭

平安時代寛弘元年(1004年)、紫式部は時の中宮の新しい物語を読みたいという要望を受け、新しい物語を作るために石山寺に七日間の参籠をしていました。そのとき、琵琶湖の湖面に映える十五夜の名月を眺めて、都から須磨の地に流された貴公子が月を見て都を恋しく思う場面を構想し、「今宵は十五夜なりけり」と書き出したのが「源氏物語」の始まりだったといわれています。その紫式部の伝承にちなみ、毎年石山寺では中秋のお月見の行事として「秋月祭」を開催しています。

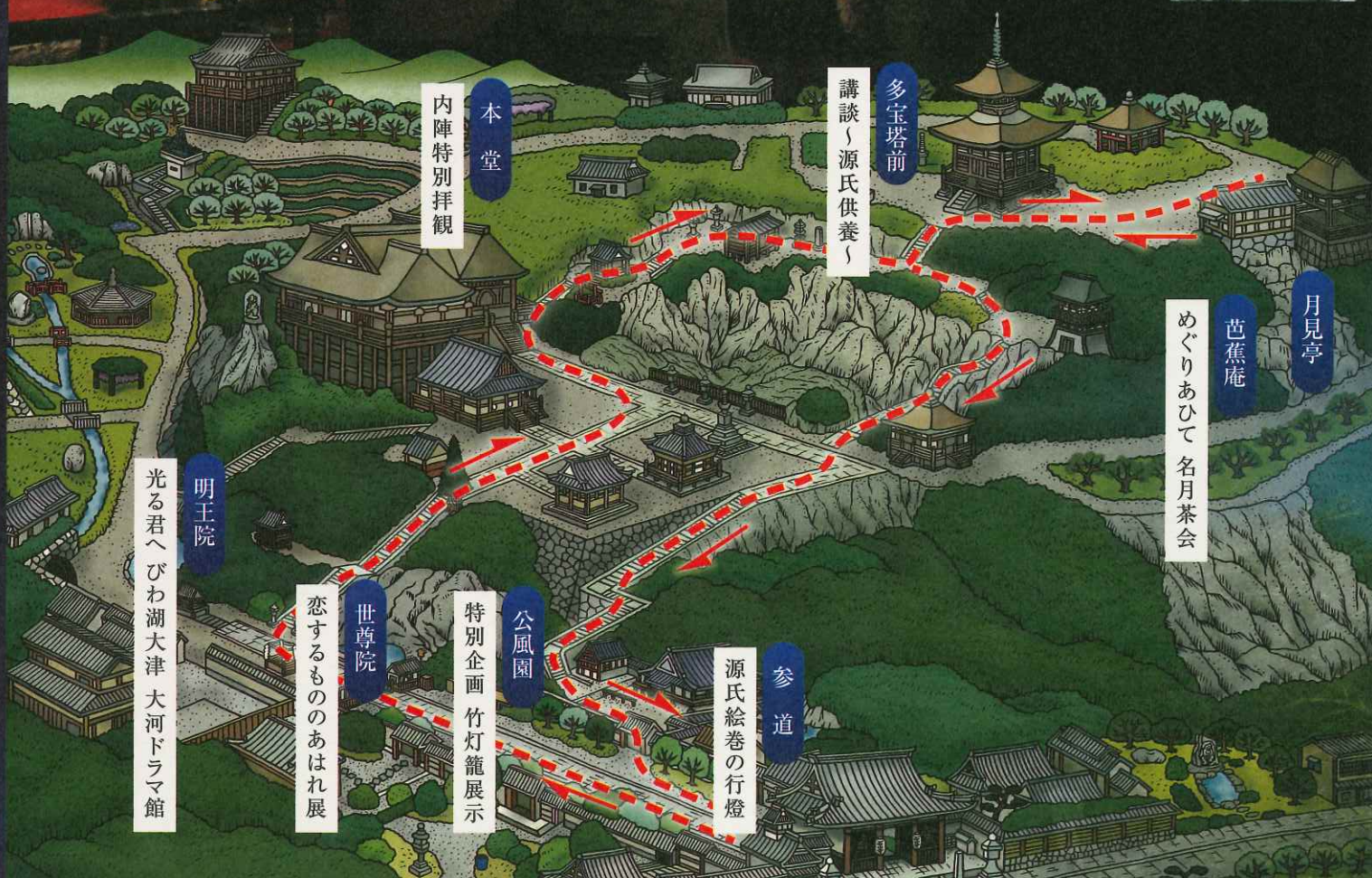


本堂

<特別行事> 石山寺座主による法話

9月17日(火・中秋) / 18日(水)
17:45～ / 参加費: 無料

鷲尾龍華座主による法話。紫式部と石山寺のゆかりや、内陣に掛けられる紫式部の肖像画「紫式部聖像」についてなど中秋ならではの法話をお聞きいただけます。



明王院
光る君へびわ湖大津大河ドラマ館

世尊院
恋するもののははれ展

特別企画
竹灯籠展示

参道
源氏絵巻の行燈

月見亭
芭蕉庵
めぐりあひて名月茶会



明王院

<夜間特別開館> 光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館

9月17日(火・中秋) / 18日(水)
17:30～20:30(最終受付20:15)
入館料: 無料

大河ドラマ「光る君へ」のテーマを掘り下げる映像や企画パネル、ドラマに登場する衣装や小道具などを展示。大津でしか見ることができない展示をお楽しみいただけます。



世尊院

<夜間特別開館> 源氏物語 恋するもののははれ展

9月17日(火・中秋) / 18日(水)
17:30～20:30(最終受付20:15)
入館料: 無料

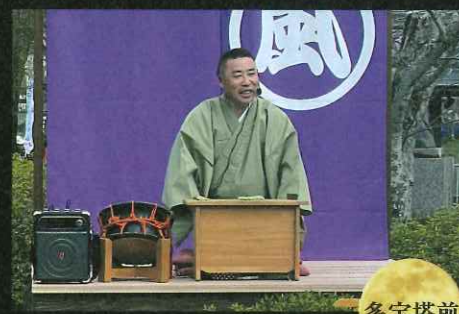
「恋」をテーマに、平安時代の文化を楽しく体験できる展示。「源氏物語」の和歌を現代的に表現したイラストや音楽などお楽しみいただけます。



芭蕉庵

<特別企画> めぐりあひて 名月茶会

9月17日(火・中秋) / 18日(水)
17:30～20:30(最終受付20:00)
※お菓子が無くなり次第、終了になる場合があります。
お茶券: 1,000円(お菓子付き)
主催: 茶道裏千家 宮川社中 後援: 京都新聞 申込: 当日芭蕉庵にて受付。受け順にご案内。
芭蕉庵は紫式部をしのんで俳句を詠んだ松尾芭蕉ゆかりの茶室(通常非公開)。2日間の限定で開催されるお茶席です。



多宝塔前

<特別企画> 講談～源氏供養～

9月17日(火・中秋) / 18日(水)
1部 18:30～ / 2部 19:30～

滋賀県在住の唯一の講談師 旭堂南風氏による講談。オリジナル演目「源氏供養」を披露。源氏物語を書き上げた紫式部のその後を語ります。(無料)



公風園

<特別企画> 竹灯籠展示

石山寺秋月祭の恒例企画「竹灯籠展示」。源氏物語の絵巻をモチーフにした作品など見ごたえのある展示です。(無料)



参道

<恒例企画> 源氏絵巻の行燈

東大門をくぐると、まっすぐ伸びる参道に源氏絵巻をあしらった行燈が並べられ、来られた方をお迎えします。この参道を抜けて本堂へ向かっていただきます。



月見亭

保元年間(1156～1158)に後白河天皇の行幸に際して建立され、貞享4年(1687)に再建されたものと伝わります。月見亭からは崖に張り出して立つ懸崖造の建物で広重の浮世絵「近江八景 石山の秋月」でも描かれています。秋月祭の象徴的なお月見の場所として、月見亭の上のぼる名月を楽しむことができます。

天候等により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。